

# やなぎの子

学校教育目標

よく考え 心豊かに たくましく

令和7年度2月号(令和8年1月26日発行)

児童数: 328名

Tel 283-4735 Fax 289-1015

【校訓】かしこい子 たくましい子 やりぬく子 なかよくする子 気持ちよく働く子

## 《スマートフォンについて》 ◎ よく考え ◎ 心豊かに

先日、久しぶりに電車に乗りました。車内を見渡すと老若男女問わずほとんどの人がスマートフォンを手にしていました。その車両で唯一の例外が2名。一人は大学生と思いき若者。その人は、週刊誌の漫画を。もう一人は私。自分はウォークマンで音楽を聴きながら雑誌を。

さて、クリスマスプレゼントやお年玉で子供が自分のスマートフォンを手に入れたり、この後、進級・進学を契機にスマートフォンを買ってもらったりすることがあります。その際、フィルタリング設定をしっかりとやっているでしょうか？家庭でスマートフォンについてしっかりとルールを決めているでしょうか？決めたルールを守っているか、しっかりとルールを守っているか見届けているでしょうか？

スマートフォンは誰もが持っています。ネットで検索し、電子マネーで買い物し、テレビやYouTubeを観て、多種多様な情報を受信・発信しています。電子レンジの仕組みを知らなくても毎日使っているように、スマホやパソコンのシステムは全く解りませんが、私自身もスマホ・パソコンなしで一日たちりとて過ごせません。新しい時代の波に押し流され、溺れそうです。

大人にとって便利で魅力的で、なくてはならない電子機器。子供たちが引き付けられ、虜になるのも無理もない事実です。これからの社会を生きる児童には、「危険だから遠ざける」のではなく、「便利な道具として賢く使う」ことを指導していかななくてはなりません。これは大人の責務です。

先ず、我が子には必要なのか。いつになったら指導を理解して正しく使えるようになるか。これをしっかりと見極めなければなりません。「〇年生になったら」、「みんな持ち始めたから」というのは理由になりません。本人とよくよく相談してください。「欲しい」と言ってきた時こそチャンスです。しっかりと腰を据え、時間を掛けて話し合ひましょう。

これまで問題になった事案は、主に以下の3点に集約できます。我が子は、こうした危険性を十分に理解し、正しく使えるだろうか。今一度考えてみてください。また、正しく使えるようにずっと見守り、時々話し合い、指導し続けなければなりません。大人自身の使い方も子供たちは見えています。

- ① 自分の欲望に負けて心身を壊す。・・・ゲームのやり過ぎ、動画の見過ぎ等、とにかく夢中になりすぎて、多くの時間と心が奪われる。夜更かしをして朝起きられない。無気力になる。
- ② 甘言や広告に騙され被害者になる。・・・年齢や性別を偽った相手に個人情報や写真・動画を送ったり、広告に誘われるままに商品を注文してしまったりして、取り返しがつかなくなる。
- ③ 使い方を誤り友人関係を壊す。・・・グループに縛られて不本意な送受信をし、抜け出せなくなる。許可なく友達の写真や動画を撮影する。それを他者に送信する等し、加害者となって友達を失くす。

お子さんと「ネット依存診断チェック」をやってみるのも正しい使い方を意識させるのには効果的です。

## 《新年を迎えて》 ◎ 心豊かに

年末・年始の行事に係ることは地方によって差はありますが、様々なものがあります。大掃除、正月飾り、年賀状、年越しそば、除夜の鐘、初詣、おせち、おとそ、お年玉、鏡開き、七草がゆ…。本来ならば、家庭・地域で行われていたものです。近年、これらのことを家庭・地域で継承されることが少なくなってきました。

そこで、獅子舞、餅つきを行いました。

獅子舞は、厄払い、無病息災、五穀豊穡の祈願を目的として、獅子頭をかぶり、太鼓や笛の音に合わせて踊るものです。頭をかむ行為は、邪気を食べるという意味があり、特に子供がかまれると「頭がよくなる」「厄除けになる」と信じられています。

獅子舞は市内小学校の校長が地元でやられている方がいるので、お願いしました。

1月13日（火）昼休み、廊下からお囃子の音。すると、獅子舞が教室へ。教室前方で、獅子が高く背伸びをしたり、大きく揺れるように動いたり。静止していると、眼をぎょろつかせ、耳を動かし、一人ひとりの子供たちをじ〜と、見ていたり。そして、一人ずつ、頭を噛んでいきました。最初は、おっかなびっくりの子供たちでしたが、目の前で舞っている獅子が頭を噛んで暮れてくれることにちょっぴり、嬉しそう。「痛くない」「気持ちいい」など感想を述べていました。

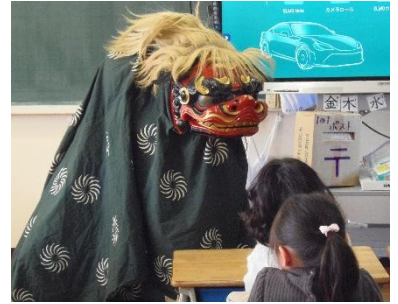
1月15日（木）、昼休み、餅つき開始。

準備は、前日にもち米を水に浸すところから。

当日は、水を含ませたもち米を蒸し、いざ、臼の中へ。杵を手においしいお持ちになるように力を込めて、ぺったん、ぺったん。

出来上がったお餅は、自分が食べる分をちぎり、手で丸くこねます。丸くなったお餅はきな粉やあんことからませて、できあがり。みんなで一緒に「いただきます」

後で振り返って、小学1〜3年、なずな学級、たんぽぽ学級の子供たちの思い出の一つになったかと思えます。そして大人になっても伝統行事を大事にしてほしいと願っています。



## 《「やなぎっ子フェスティバル」》 ◎ よく考え ◎ 心豊かに

本年度、片柳小学校のPTAは様々な面でチャレンジをしてまいりました。

組織を見直し、本部役員（運営委員）のみを役員としました。各種取組はその都度ボランティアを募集して実施しました。ボランティアが集まらなかった場合にはその取組自体は実施しませんでした。

PTA活動の合言葉は「すべては、子供たちの笑顔のために」。活動の基本理念は「できる人が、できるときにやる」。

そして、子供の自己決定を促す取組として、6年生が企画の立案を行い、その内容をPTA役員に対してプレゼンテーションを行いました。そのプレゼンテーション内容の一つにたくさんの地域の人と交流を持つために「祭りの開催」がありました。昨年から実行委員会を立ち上げ、実行委員長には森PTA会長が就任しました。そして、実行委員の中には6年生児童もいます。先日、実行委員会が開催され、以下のことが決定されました。

名称 「やなぎっ子フェスティバル」

期日 令和8年3月8日（日）午前10時00分から午後3時00分まで

会場 片柳小学校 体育館、運動場、校舎（一部）

詳細については、今後決定していく予定です。当日は、授業日ではありませんが、当日、地域の方も含め、大勢の方に来校いただくとありがたいです。